

アラビア文字資料の検索法（Webcat 編）

2012 年 3 月

財団法人東洋文庫研究部イスラーム地域研究資料室

徳原 靖浩

目的：ここでは、NACSIS Webcat を使って国内に所蔵されているアラビア文字資料（図書・雑誌）を使って論文を作成するために、それらの資料を効率よく検索・利用するためのポイントを説明します。

はじめに

研究論文作成のために資料を探するとき、もっとも手っ取り早い方法は、自分の大学の図書館の オーバック OPAC (Online Public Access Catalog) を使って検索することです。一般的な図書や雑誌であれば、多くの大学図書館に所蔵されていることでしょう。また、和書であれば公共図書館の充実した蔵書を利用することもできます。しかし、アラビア文字資料を検索する場合には、一機関だけで必要な資料を全て集められるとは限りません。特殊言語ともなれば、どの機関でも所蔵しているような資料というのは少なく、寧ろ、ある資料は東京大学にしかなく、別のある資料は京都大学に、また別のある資料はアジア経済研究所にしかない、というように、各機関に点在していることが珍しくありません。自分の求める資料を見つけるために、まず東大の OPAC で検索し、次に京大 OPAC、次に東外大、阪大、アジ研、・・・と、いちいち各機関の OPAC で検索していたのでは、大変な手間と時間がかかります。研究論文作成ともなれば、数十点もの資料を使うことが珍しくありませんから、尚更効率的に検索するスキルが重要になります。

そこで、本稿では、複数の機関の所蔵資料を一度に検索できる NACSIS Webcat を使って、アラビア文字資料を上手に検索するためのポイントを解説します。

NACSIS-CAT とは

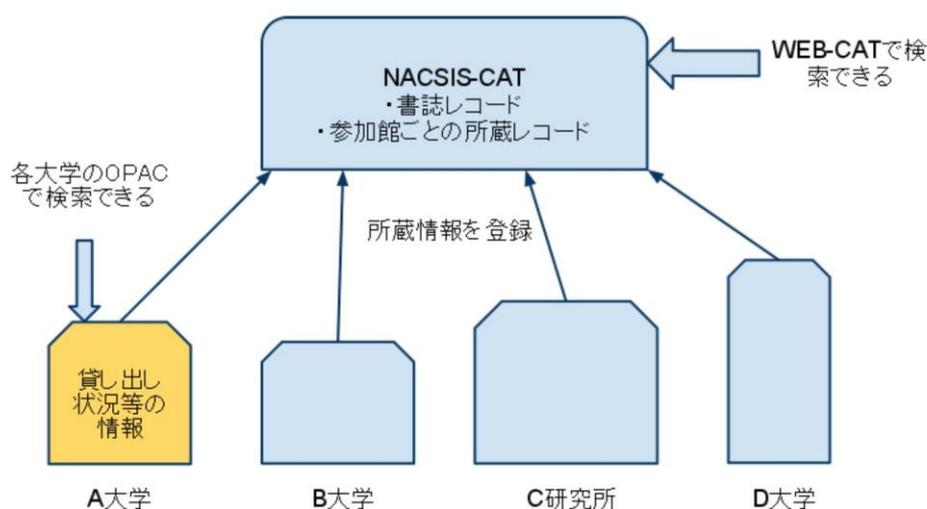
NACSIS-CAT とは、国立情報学研究所 (NII) が運営する全国規模の共同のオンライン目録データベースです。2011 年 3 月 31 日時点で、国公立大学 163、私立大学 560、海外機関 122 を含む、1248 の機関が接続しており¹、図書、雑誌併せて 976 万件以上の書誌が登録されています²。

¹ <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/cat/org.html>

NACSIS-CATでは、資料のタイトルや著者名、出版者情報などの書誌情報からなる書誌レコードを参加館が共有し、それに対して各機関の固有の所蔵情報からなる所蔵レコードをリンクさせる仕組みをとっています。このため、一度に複数の機関の所蔵を確認できるという上述のメリットに加え、書誌情報が複数の機関の作業者によって修正されるため、書誌情報の正確さが増し、結果として資料が見つかりやすくなるというメリットもあります。

また、相互貸借サービスのためのシステムであるNACSIS-ILL³の参加館の所蔵資料であれば、自分の所属機関を通じて資料を取り寄せたり、複写の依頼をしたりすることができます。

総合目録データベースの概念



検索の手順

では、実際の検索方法に進みましょう。NACSIS-CAT上のデータを検索するには、NIIが提供する検索システムである、Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>) や Webcat Plus

(<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)、CiNii Books (<http://ci.nii.ac.jp/books/>) を使うことができます⁴。

それぞれに使い勝手や検索方法に違いがありますが、今後、Webcatは2012年度末を持ってサービスを終了し、その役割はCiNii BooksとWebcat Plusに引き継がれます⁵。しかし、現段階

² http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/cat/transition_record.html

³ <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/ill/>

⁴ その他にも、国立国会図書館の「国立国会図書館サーチ」 (<http://iss.ndl.go.jp/>) や、多くの大学図書館のOPACが、NACSIS-CATのレコードも検索できる機能を持っていますが、検索方法は機関毎に異なります。

では、Webcat Plus は FlashPlayer を使用しているため、検索結果画面のアラビア文字が正しく表示されません。CiNii Books もまだ発展途上段階にあり、後述するアラビア文字の正規化が行われません⁶。現時点では、精度の高い検索には Webcat を使用するのがよいでしょう。

さて、図書館所蔵資料を探す際にまず考慮に入れなければならないのは、Webcat や OPAC を使って私たちが検索できるのは、資料そのものではなく、資料から一定のルールに従って情報を転記した書誌レコードだということです。従って、資料に記載されていても書誌レコードに記録されない情報、例えば本文中の一節や、表紙の色やデザイン、帯に記載された情報などでは検索できません。また、ページ数や挿図の有無のように、書誌レコードに記述されていても、検索対象になっていない情報では検索することはできません。

また、正しいキーワードで検索しても、書誌の記述が間違っていればそれを見つけることはできません。更に、ある資料を機関が所蔵していても、何らかの事情で NACSIS-CAT に所蔵情報を登録していないことがあります。このようなことが理由で、探したい資料のタイトルや著者名が分かっているにもかかわらず、簡単に見つけることができないとは限らないのです。

⁵ http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/2011/06/webcat_1.html

⁶ 2012年3月現在。

NACSIS Webcat: 詳細表示

[\[利用の手引き\]](#) || [\[検索画面に戻る\]](#)

تاريخ ابن خلدون : المسمى بكتاب العبر، و ديوان المبتدأ والخبر، في أيام العرب و لعجم والبربر ومن عاصرهم من ذوي السلطان الأكبر / لعبد الرحمان بن محمد بن خلدون
 Tārīkh Ibn Khaldūn : al-musammá bi-Kitāb al-ʿibar, wa-dīwān al-mubtadiʿ wa-al-khabar, fī ayyām al-ʿArab wa-al-ʿAjam wa-al-Barbar wa-man ʿāṣarahum min dhawī al-sulṭān al-akbar>. -- (BA51692980)
 [---بيروت : مؤسسة جمال, 19] 7 v. ; 25 cm -- الجزء 1 - الجزء 7
 注記: In Arabic ; Summary: Arabic text of Tārīkh, Kitāb al-ʿibar by Ibn Khaldūn (1332-1406), on political, social and economical history of Islamic world
 ISBN: (الجزء 1); (الجزء 2); (الجزء 3); (الجزء 4); (الجزء 5); (الجزء 6); (الجزء 7)
 別タイトル: تاريخ ابن خلدون
 著者標目: Ibn Khaldūn, 1332-1406
 分類: NDC9 : 227
 件名: Islamic Empire -- History ; History -- Philosophy -- Early works to 1800 ; Ibn Khaldūn , 1332-1406 ; Middle East -- History -- Early works to 1800

←タイトル・責任表示 (原綴形)

←タイトル翻字形

←出版事項・物理情報

←注記

←ISBN・巻冊次

所蔵図書館 3

[東外大](#); 1 الجزء H1/220/412574/1 0000252958 ; 2 الجزء H1/220/412574/2 0000252959 ; 3 الجزء H1/220/412574/3 0000252960 ; 4 الجزء H1/220/412574/4 0000252961 ; 5 الجزء H1/220/412574/5 0000252962 ; 6 الجزء H1/220/412574/6 0000252963 ; 7 الجزء H1/220/412574/7 0000252964
[東大文](#) イスラム ; 3 1 الجزء号館C9:Kha V.1:0224 4845800418 ; 3 2 الجزء号館C9:Kha V.2:0225 4845800426 ; 3 3 الجزء号館C9:Kha V.3:0226 4845800434 ; 3 4 الجزء号館C9:Kha V.4:0227 4845800442 ; 3 5 الجزء号館C9:Kha V.5:0228 4845800459 ; 3 6 الجزء号館C9:Kha V.6:0229 4845800467 ; 3 7 الجزء号館C9:Kha V.7:0230 4845800475
[同大](#); 227 1 الجزء III9145II1 041003273 ; 227 2 الجزء III9145II2 041003274 ; 227 3 الجزء III9145II3 041003275 ; 4 الجزء III9145II4 041003276 ; 227 5 الجزء III9145II5 041003282 ; 227 6 الجزء III9145II6 041003297 ; 227 7 الجزء III9145II7

所蔵情報

また、資料を書誌情報に置き換えて登録するには様々な規則があり⁷、それらを把握してないとうまく検索できないこともあります。とはいえ、それらの規則を全部覚えてから検索に臨む、

⁷ 詳細は省略しますが、物理的な資料から目録情報を転記するには英米目録規則 (和書は日本目録規則)、更にそれを NACSIS-CAT 上に入力するためには NII 作成のコーディングマニュアルが

というのは現実的な方法とは言えません。多くの人は実際に検索をする中でコツを覚えていくと思われませんが、必ずしも正しく検索できているとは限りません。正しく（隈なく）検索できているかどうか、以下のやり方を参考に確認して下さい。

まずは ISBN/ISSN で検索

もし、探したい資料の ISBN（図書）や ISSN（雑誌）が分かっているなら、Webcat の「標準番号」のフィールドにそれを入力して検索するのが手っ取り早い方法です。ISBN/ISSN は間にハイフンを入れても入れなくても構いません。ISBN には 13 桁のものと 10 桁のものがありますが、ともに検索可能です。

ISBN/ISSN で検索してヒットしなかったからといって、その資料が存在しないと考えるはいけません。オンライン書店などのデータでは ISBN が書かれていても、NACSIS で書誌が作られた当時は ISBN がなかったために書誌に記録されていないことがあります。また、洋書ではペーパーバック版とハードカバー版で別の ISBN を持つ場合がありますので、ISBN 以外のキーワードでも必ず検索して下さい。

タイトル・著者名・出版者はローマ字とアラビア文字両方で検索する

ISBN/ISSN で検索して見つからなかったら、次はタイトルや著者名などで検索します。

NACSIS-CAT では 2003 年からアラビア文字の運用を開始しました。それ以前はタイトルや著者名を含めて、全てローマ字翻字形のみで書誌が作られていましたが、アラビア文字の運用に伴い、それらの全てのタイトル及び責任表示（著者、編者、訳者等）の部分が原綴のアラビア文字の形に修正されました。現行の規則では、タイトルと責任表示、出版地・出版者、シリーズ名、内容注記、別タイトルは原綴形とローマ字翻字形で登録されることになっていますが、一部の古いレコードでは出版情報が翻字形のままになっているものもあります。従って、念入りに検索を行うには、これらの要素をアラビア文字とローマ字両方で検索する必要があります。

件名・分類などは補助的に使う

Webcat では、「フリーワード」という検索フィールドが設けられています。ここに検索語を入力すると、タイトル、著者名のほか、件名や分類を検索することができます。件名というのは、資料の主題や形式を表すキーワードのようなものです。多くの場合、和書の件名は基本件名標目表（日本語）、洋書の件名は Library of Congress Subject Headings（LCSH、英語）に従って入力されるので、アラビア文字ではなく、英語のキーワードで検索します。例えばフリーワード「Ibn

用いられており、またアラビア文字などの非ラテン文字資料ならば、それをローマ字に置き換えるために ALA LC Romanization Tables という翻字規則が用いられています。

「Sina」で検索すれば、タイトル、著者名、件名のいずれかに「Ibn Sina」を含む書誌を検索することができます。

分類を検索するには、分類記号を知る必要がありますが、分類法には日本十進分類法（NDC）やデューイ十進分類表（DDC）などがあり、書誌によってどの分類表に基づいて分類記号が記載されているかは定かではありません。NDCを簡単に覚えておくと、実際に書架を眺めて本を探す時に役立ちます。ここでは日本十進分類法9版（NDC9）を例に、イスラーム地域研究に関係しそうな分類記号を挙げておきます。NDCは3桁＋小数からなる分類記号を用います。小数を考慮しないで検索する場合はアスタリスクを用いて前方一致検索にすると良いでしょう。

129.7	アラビア近代哲学	243.1	リビアの歴史
132.28	アラビア中世哲学	243.2	チュニジアの歴史
167*	イスラーム（宗教	292.7*	西南アジア・中東の地理・地誌・紀行
167.1	教義・神学	299.45	ペルシア湾
167.2	イスラーム史	312.27*	西南アジア・中東の政治史・事情
167.28	マホメット	322.28	イスラーム法
167.3	教典：コーラン	332.27*	西南アジア・中東の経済史・事情・経済体制
167.4	信仰録．説教集	449.33	イスラーム暦
167.5	寺院	702.096	イスラーム芸術
167.6	勤行：告白、祈禱、喜捨、断食、巡礼、戒律	762.27	西南アジア・中東の音楽
167.7	布教．伝道	829.57	トルコ語
167.8	教派：スンニ派、シーア派	829.76	アラビア語
224*	インドネシアの歴史	829.93	ペルシア語
225.7	パキスタンの歴史	929.57	トルコ文学
227*	西南アジア・中東の歴史	929.76	アラビア文学
242*	エジプトの歴史	929.93	ペルシア文学

注意すべきことは、書誌に件名や分類記号が記録されていなければ検索することはできませんし、目録作成者が資料をどのように分類するかは必ずしも定かではないということです。件名や分類での検索は補助的なものと考えて下さい。

より精確に検索するために～アラビア文字、翻字、正規化の話

ここでは、もう一度、タイトル・著者名の検索に戻り、より精確に検索するために必要な、翻字や文字コードに関する情報について説明します。

ローマ字で検索するときの注意点

既に説明したように、タイトルや著者名はローマ字とアラビア文字で検索することができますが、通常、日本や欧米の研究論文などでは、アラビア文字をローマ字に翻字して扱いますので、それを頼りに検索するときはローマ字で検索することが多いでしょう。しかし、それらの論文で用いる翻字方式は、図書館で用いられる方式とは異なりますので、そのまま入力して検索してもヒットしないことがあります。

例えば、先行研究の文献目録に、Ibn Ṭūlūn. *al-Qalā'id al-Jawharīya fī Ta'rīkh al-Ṣālihīya* という資料が挙げられており、それを自分でも参照したいとします。このローマ字のタイトルをそのまま Weecat に入力して検索しても、見つけることはできません。Weecat でこれを検索するときは、これを原綴のアラビア文字に直すか、ALA-LC Romanization Tables⁸に沿った翻字方式（以下、LC 翻字）に直してやらなければなりません。アラビア語を例にとってみると、以下のように、LC 翻字と研究論文等で使われる翻字方式には若干の違いがあります。

① Cambridge History of Islam 風：

Ibn Ṭūlūn. *al-Qalā'id al-Jawharīya fī Ta'rīkh al-Ṣālihīya*

② LC 翻字（アラビア語）：

Ibn Ṭūlūn. *al-Qalā'id al-Jawharīyah fī Ta'rīkh al-Ṣālihīyah*

③ Encyclopaedia of Islam 風：⁹

Ibn Ṭūlūn. *al-Qalā'id al-Djawhariyya fī Ta'rīkh al-Ṣālihīyya*

LC 翻字では、ター・マルブータの部分を -ah と翻字します。次の後との接続関係によっては、-at と翻字することもあります。したがって、どちらでもヒットさせるには、*jawhariya** のように、変化する可能性のある語尾の部分をアスタリスクに置き換え、前方一致検索をするとよいでしょう。

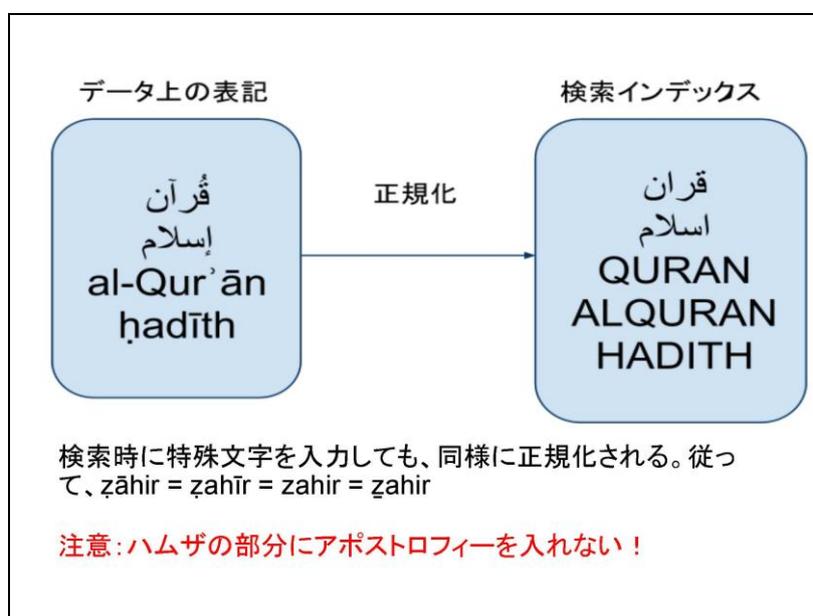
尚、この翻字方式は、アラビア語、ペルシア語、オスマントルコ語、ウルドゥー語、etc.と、言語ごとに異なっています。それぞれの言語の翻字規則の概要を知っておくことは重要です。

⁸ 以下の URL から参照できます。 <http://www.loc.gov/catdir/cpsd/roman.html>

⁹ 尚、最新版である Encyclopaedia of Islam Three では Cambridge History 風翻字が採用されています。

その際、LC 翻字形を用いて Webcat や NACSIS-CAT 接続館の OPAC で検索する場合には、ā や š などキーボードからの入力が見当らない特殊文字は、通常の a や S に置き換えて検索できます。またハムザやアインを表す「'」や「'」は省くことができます¹⁰。

また、al-や bi-、li-などハイフンでつながれた冠詞や前置詞は省くことができます。これらは、正規化という処理が行われているために可能になっています。正規化とは、大文字や小文字の違い、符号の有無による検索の揺れを解消するための仕組みです。登録された書誌データから生成される検索用インデックスと、Webcat 等で利用者が検索する際に入力したキーワードを、ともに正規化された形で照合させることで、表記の微妙な違いによる検索もれを防ぐことができます。



正規化によって検索が容易になっているとはいえ、翻字規則を正しく知らなければ、いくら検索しても目的の資料を見つけることはできません。また、書誌の翻字が間違っていれば、正しい形で検索してもヒットしません。このため、アラビア文字でも検索することが重要です。

¹⁰ NACSIS-CAT では、「'」と「'」の代わりに「'」、 「'」を用いてきました。

アラビア文字で検索する方法

アラビア文字で検索する最大のメリットは、翻字規則を知らなくても良いということに尽きます。特に、ペルシア語のように、現代語の発音と翻字の母音体系が著しく異なる場合、一般利用者にとっては、本来検索を容易にするための翻字規則が逆に検索の障害になってきたという経緯があります。

Webcat を使ってアラビア文字で検索する際には、タンウィーンやマッダ、シャッダ、また文字の上下についたハムザなどは省略できます。しかし、注意しなくてはならないのは、定冠詞や前置詞がついた語は、その通りの形でないとヒットしないということです。従って、ある単語をキーワードとして検索する際には、定冠詞や前置詞をつけた形とつけない形でそれぞれ検索しなくてはなりません。

NACSIS-CAT では、アラビア文字についても以下の表のような正規化処理を行っています。簡単に言えば、デリミタおよびトルツメ処理となっているものは、検索時に省略してもよいといえます。ハムザのついた文字なども、ハムザなしの文字で検索できます。

注意すべきは、この表にないものは正規化されていないということです。例えば、アラビア語のキーボード（入力ローケル）で入力できるカーフ（U+0643 Arabic Letter Kaf）と、ペルシア語のキーボードで入力できる（U+06A9 Arabic Letter Keheh）は、同じカーフですがユニコードでは異なる文字として考えます。従って、どちらのキーボードを使って検索するかによって、同じ単語でも検索結果に違いが出ます。基本的に、アラビア語タイトルの資料の検索にはアラビア語、ペルシア語の資料の検索にはペルシア語のキーボードを使って検索するよう心がけて下さい。

アラビア文字の検索キーの正規化および包摂文字定義の例

参考:NACSIS-CAT/ILL ニュースレター13号(2003/12/19) <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl2/No13/index.htm>

デリミタ定義

	コード	グリフ	名称	デリミタ／踊り文字
1	060C	،	ARABIC COMMA	デリミタ
2	061B	؛	ARABIC SEMICOLON	デリミタ
3	061F	؟	ARABIC QUESTION MARK	デリミタ
4	066A	٪	ARABIC PERCENT SIGN	デリミタ
5	066D	*	ARABIC FIVE POINTED STAR	デリミタ
6	06D4	.	ARABIC FULL STOP	デリミタ

検索キーの正規化

	コード	グリフ	名称	検索キーの正規化	グリフ
1	0622	اَ	ARABIC LETTER ALEF WITH MADDA ABOVE	0627	ا

2	0623	ا	ARABIC LETTER ALEF WITH HAMZA ABOVE	0627	ا
3	0624	و	ARABIC LETTER WAW WITH HAMZA ABOVE	0648	و
4	0625	ا	ARABIC LETTER ALEF WITH HAMZA BELOW	0627	ا
5	0626	ع	ARABIC LETTER YEH WITH HAMZA ABOVE	064A	ع
6	0649	آ	ARABIC LETTER ALEF MAKSURA	064A	آ
7	064B	◌ْ	ARABIC FATHATAN	トルツメ処理	
8	064C	◌َ	ARABIC DAMMATAN	トルツメ処理	
9	064D	◌◌◌	ARABIC KASRATAN	トルツメ処理	
10	064E	◌◌◌◌	ARABIC FATHA	トルツメ処理	
11	064F	◌◌◌◌◌	ARABIC DAMMA	トルツメ処理	
12	0650	◌◌◌◌◌◌	ARABIC KASRA	トルツメ処理	
13	0651	◌◌◌◌◌◌◌	ARABIC SHADDA	トルツメ処理	
14	0652	◌◌◌◌◌◌◌◌	ARABIC SUKUN	トルツメ処理	
15	066B	٫	ARABIC DECIMAL SEPARATOR	トルツメ処理	
16	066C	٬	ARABIC THOUSANDS SEPARATOR	トルツメ処理	
17	0670	◌◌◌◌◌◌◌◌◌	ARABIC LETTER SUPERSCRIPT ALEF	トルツメ処理	
18	0671	آ	ARABIC LETTER ALEF WASLA	0627	ا
19	06BA	ن	ARABIC LETTER NOON GHUNNA	0646	ن
20	06BB	ن	ARABIC LETTER RNOON	0647(0646 の間違い?)	ه(ن)
21	06C0	ه	ARABIC LETTER HEH WITH YEH ABOVE	0647	ه
22	06C1	ه	ARABIC LETTER HEH GOAL	0647	ه
23	06C2	ه	ARABIC LETTER HEH GOAL WITH HAMZA ABOVE	0647	ه
24	06CC	ع	ARABIC LETTER FARSI YEH	064A	ع
25	06D3	ع	ARABIC LETTER YEH BARREE WITH HAMZA ABOVE	06D2	ع
26	06D5	ه	ARABIC LETTER AE	0647	ه

包摂文字定義

	コード	グリフ	名称	包摂定義(包摂先)	グリフ
1	0660	٠	ARABIC-INDIC DIGIT ZERO	→0030	0
2	0661	١	ARABIC-INDIC DIGIT ONE	→0031	1
3	0662	٢	ARABIC-INDIC DIGIT TWO	→0032	2

以下省略

見つけた資料を閲覧・入手する

さて、目的の資料が見つかったら、所蔵館に行って閲覧やコピー、あるいは相互貸借サービスによって資料やコピーを取り寄せることができます。そのためには、資料のIDや配架場所を特定する情報を控えて行くことが重要です。

図書所の蔵の見方

NACSIS Webcat: 詳細表示

[\[利用の手引き\]](#) || [\[検索画面に戻る\]](#)

القلائد الجوهريّة في تاريخ الصالحية / مؤلفه محمد بن طولون الصالحى ; بتحقيق مح
مد احمد دهمان <al-Qalā'id al-jawhariyah fī tārikh al-
Ṣālihiyah>. -- (BA6600609X)
دمشق : مجمع اللغة العربية, 1981-1980
القسم 1; القسم 2 -- 25 cm ; 2 v.
注記: Includes indexes
ISBN: (القسم 1) ; (القسم 2)
著者標目: Ibn Tūlūn, Shams al-Dīn Muḥammad ibn 'Alī, 1485?-15
46 ; Duhmān, Muḥammad Aḥmad

所蔵図書館 4

[京大文](#) 西南ア史 ; 1 القسم E6||64||1 90110525 ; 2 القسم E6||6
4||2 90110526
[東大東文](#) 図書 ; 1 القسم AR50:182:1 6401702862 ; 2 القسم AR50
:182:2 6401702870
[東大文](#) イスラム ; 3 1 القسم号館C9:Tul V.1:0212 4845800525 ; 1
3 2 2 القسم号館C9:Tul V.2:0213 4845800533
[東洋文庫](#) ; 1 القسم A-H-902(1) 158981 ; 2 القسم A-H-902(2) 15
8982

[\[利用の手引き\]](#) || [\[検索画面に戻る\]](#)

Copyright(C) 2002 NII ALL RIGHTS RESERVED

上の図では、*al-Qalā'id al-Jawharīyah fī Ta'rikh al-Ṣālihiyah* というタイトルの1980年から1981年にかけて出版された資料を、4つの機関が所蔵していることが分かります。機関名は略号で示されていますが、機関名の部分をクリックすると、機関の正式名称、所在地、連絡先、開館時間、閲覧条件などが記載されています。貸し出しを行っていない機関や、閲覧に紹介状の必要な機関もありますので、よく確認して、自分の都合にあった機関を選びましょう。

尚、NACSIS-CAT に登録されている所蔵情報は、基本的に資料の有無と、資料の I D とする請求記号や登録番号だけです。貸し出し状況や、破損・紛失・修理中などの状況については、各機関に問い合わせるか、機関 OPAC で再度検索する必要があります。

また、同じ資料を複数所蔵している場合でも、NACSIS-CAT には 1 冊の情報しか登録しません。各機関の OPAC では、複本それぞれの貸し出し状況を確認することができますので、Webcat で検索した資料は必ず所蔵館の OPAC でも検索するようにしましょう。機関によっては、遠方から来る利用者のために取り置きが可能な場合もあります。

さて、アラビア文字資料ともなれば、図書館員がタイトルを読めるとは限りませんので、図書館で閲覧請求するためには、タイトルや著者名だけでなく、請求記号と登録番号（登記番号）をメモしておくことが重要です。タイトルや著者名だけでは資料を特定できませんので、図書館員が再度 OPAC で検索しなくてはなりません。図書館員は必ずしもアラビア文字資料の検索に長けていませんから、せっかく行ったのに見つからないということになりかねません。

通常、請求記号は資料の背表紙ラベルに記入されており、資料はこの記号に従って配架されています。上の図の例では、京大文では第 1 巻が E6||64||1、第 2 巻が E6||64||2 となっています。

ただし、機関によっては同じ請求記号に複数の資料が登録されている場合があります。その場合、アラビア文字を読めない図書館員が資料を特定するためには、登録番号の情報も役に立ちます。

上の図の所蔵情報を分かりやすく表にすると以下ようになります。

	配架場所（略号）	請求記号		登録番号	
		第 1 巻	第 2 巻	第 1 巻	第 2 巻
京大文	西南ア史	E6 64 1	E6 64 2	90110525	90110526
東大東文	図書	AR50:182:1	AR50:182:2	6401702862	6401702870
東大文	イスラム、3 号館	C9:Tul V.1:0212	C9:Tul V.2:0213	4845800525	4845800533
東洋文庫	記述なし ¹¹	A-H-902(1)	A-H-902(2)	158981	158982

¹¹ 配架場所の記載がない場合、図書館や図書室や一つしかないと考えて良いでしょう。

雑誌の所蔵の見方

雑誌の場合は、請求記号や登録番号ではなく、巻号が表示されます。所蔵館として表示されていても、全ての号を所蔵しているとは限りませんので、どの機関が何号を所蔵しているかを確認しなければなりません。

NACSIS Webcat: 詳細表示

[\[利用の手引き\]](#) || [\[検索画面に戻る\]](#)

السياسة الفلسطينية : دورية سياسية علمية
محنة تهتم بشؤون السياسة الفلسطينية
al-Siyāsah al-Filasṭīnīyah : dawrīyah siyāsīyah ‘ilmīyah maḥ
kamah tahattum bi-shu’ūn al-siyāsah al-Filasṭīnīyah>. -- (AA1251
4882)
نابلس, الضفة الغربية : مركز البحوث و --
الدراسات الفلسطينية
注記: Description based on: السنة 1, العددان 3 و 4 (ص 1994
يف/خريف 1994) ; Text in Arabic
別タイトル: al-Siyasa al-Filastiniyya (Palestine policy)
著者標目: Markaz al-Buṯṯ wa-al-Dirṯṯ al-Filasṯṯ nṯṯ yah (Nab
lus)

所蔵図書館 1

[東外大](#) 1(3-4),2(6-8),3,4(13-14)<1994-1997>

上の図の例では、この雑誌が東外大にあることは分かります。しかし、全ての巻がそろっているわけではないようです。雑誌の所蔵は「巻(号)」の形で表記されます。上の例では、1巻3～4号は所蔵がありますが、1巻1～2号はありません。2巻は6号から8号までがあります。3巻は号数の表記がありませんが、これは3巻の全ての号が揃っていることを表します。4巻は13～14号があります。

注意すべきことは、この記述からは各巻が何号から成るのかは分からないということです。3巻は全号揃っているといっても、3巻1号が存在するとは限りません。一見すると、途中で多くの号が抜けているように見えますが、号数が通し番号になっているとすれば、各巻は4号ずつで、2巻は5～8号、3巻は9～12号からなると考えられます。その場合、途中で抜けているのは1巻1～2号、2巻5号だけです。

尚、<1994-1997>とあるのは、所蔵する最古の号の発行年から最新の号まで範囲を示していますが、その間の号がすべて揃っているという意味ではありませんので注意が必要です。年の後にプラス記号(+)がある場合は(例:<1994-2011>+)、継続して受け入れがなされていることを示します。上の場合は、プラス記号がありませんので、4巻14号以降受け入れがないことを示しています。

相互貸借・複写依頼を利用する

NACSIS-ILL等の相互貸借サービスに参加している機関であれば、自分の所属機関を通して相互貸借や複写を申請することができます。自分の機関がNACSIS-ILLに参加しているかどうか、また別の相互貸借サービスや、他機関との相互協定によるサービスの提供状況については、図書館のサービスカウンターやホームページ等で確認しましょう¹²。

国内の機関に所蔵がない場合には、海外の機関から資料を取り寄せたり複写依頼をしたりできる海外ILLが利用できる場合があります。これも自分の所属機関で確認しましょう。

通常、相互貸借サービスには郵送料や複写料金がかかりますので、自分の機関にある本をわざわざ他館からとりよせて無駄なお金を払った、なんてことにならないためにも、もう一度よく検索してみましょう。



¹² NACSIS-ILL 利用機関一覧は以下の URL から確認できます。
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/ill/useorg.html>